

(様式 1)

令和 5 年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立隅田小学校
校長名	浮津 あゆみ

1 本校の学力に関する状況

(1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・国語では、主体的に学習に取り組む態度の観点においてほぼすべての学年で全国平均を上回っている。・算数では、知識・技能、主体的に学習に取り組む態度の観点において、ほぼすべての学年で目標値を上回っている。	<ul style="list-style-type: none">・理科では、思考・判断・表現の観点において全国平均の近似値か下回る数値である。結果予測や知識を応用した考えを表現する力が弱い。・いずれの教科でも、記述回答の正答率が目標値と同等かそれ以下の水準にある。・いずれの教科も習熟度の差が激しいため、個に応じた指導を一層充実させた授業を行う必要がある。

(2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・全学年において、「対話・話し合い」の数値が全国平均と同等または高くなっており、友達と話し合う授業を楽しんでいる児童は 80% を上回っている。・ほとんどの学年で「先生のささえ」の数値が全国平均と同等または高くなっており、教員との良好な関係が築けていると言える。	<ul style="list-style-type: none">・話し合いの中で自分なりに考えて意見を発言している児童が少なく、特に 5・6 年では 45% 以下となっている。話し合い活動の質の向上を目指す必要がある。・学年が上がるにつれて「学習意欲」「学習習慣」の数値が低くなっている。特に、SNS、ゲーム、テレビ等に関わる時間については多くの学年で全国平均を超えている。

(3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none">・いずれの教科においても、タブレット端末やプロジェクター等の ICT を活用した指導法を充実させることができた。・振り返りシートや学力調査の過去問題、自作の類似問題等に取り組み、対策を講じることができた。	<ul style="list-style-type: none">・過去問題実施後の解き直しが定着しておらず、習熟に向けての取組としては不十分である。・時間の厳守、学習用具の準備、話を聞く態度等に課題のある児童も少なくない。全校的な学習規律の見直しが必要である。

2 本年度の学力向上に関する主な取組

(1) 確かな学力の定着

① 計画的で分かりやすい授業づくり

- ・「学習のきまり」に基づき基本的な授業展開を統一する。ねらいの提示・自力解決・友達との共有・問題の演習・まとめ・振り返りの内容で構成した授業作りを、全学級で実施する。
- ・既習学習の習熟の理解をより確実にするために、授業の前後に振り返りシートを活用する。

② 補習教室の実施

- ・主に CD 層児童を対象とした少人数体制での補習教室を放課後および夏季休業中に実施する。算数科を中心とし、習熟が不十分な内容に繰り返し取り組ませることで徹底習熟を図る。

(2) 個に応じた指導の工夫

① ICT の活用

- ・学習支援アプリを活用し、考えの道筋を明確にすることで、思考力・表現力を向上させる。
- ・個に応じたドリル問題に取り組ませることで、基礎基本事項の習熟を図る。

② 児童による学習の振り返りと課題の設定

学習状況調査や、単元確認テストの結果を返却する際に振り返りの時間を確保する。頑張った点について児童にフィードバックし、児童が自分の習熟度を把握し、課題を見つけられるようにする。

(3) 授業力向上・授業改善

① 教員の相互授業参観・OJT の取組

- ・教員をチームに分け、相互に授業を参観する。年に3回相互参観の時間を設定し、チーム内で成果と課題、改善策について検討する。

② 授業規律

- ・「チャイムに始まりチャイムで終わる」授業展開のため、時間管理を全校で実施する。

3 「令和6年度 墨田区学習状況調査」における目標

(1) 目標

- ・全学年において全観点が全国平均を上回る。
- ・各学年、国語、社会、理科におけるCDE層40%以下、算数、英語におけるCDE層35%以下にする。